

岸和田市議会議員候補者

田中いちこさん（現職）



【質問 1】

Q. 子どもの権利条約について

A. 知ってる

【質問 1-1】

Q. ①とお答えの方にお聞きします。「子どもの権利条約が国際連合で1989年に採択されてから34年、日本が批准してから29年になります。そのような中、岸和田市において、子ども権利条約が、子どもはもとより、おとなである市民にも十分に周知されているとは言えません。今後、子どもの権利条約に基づく子どもの人権や子どもの性（リプロダクション・生殖・命・性の関係性など）など、地域や校区で子どもに関わるおとなや教育の場で取り組むことについてどう思われますか？

A. 賛成。より広範な方々に届く方法を工夫しながら、積極的に取り組むべきと考えます。

【質問 2】

Q. 子どもの現状に対し、課題だと思えることはなんですか？課題と、課題解決のための施策をお答えください。

A. 貧困、虐待、体罰、いじめ、自殺、不登校、登校拒否、ブラック校則、高学費、多人数学級など課題は多く、子どもたちが過酷な状況におかれていると思います。子どもの権利条約の4つの原則に基づいた取り組みが必要で、そのためにもまずは、子どもたち自身も含めて、この4つの原則の理解を広げることが必要と考えます。

【質問 3】

Q. 国では昨年、子ども基本法ができましたが、岸和田市でも子どもの権利を保障する子ども権利条例が必要だと思いますか？

A. はい

【質問 3-1】

Q. 質問3でははいとお答えした方にお聞きします。理由をお答えください。

A. 「はい」と回答しましたが、「こども基本法」は、「養育は家庭を基本とする」など、問題点も多く、条例を制定する場合は「子どもの権利条約」の理念をまっすぐ貫くものでなければならないと思います。条例制定は、様々な場面で子どもの権利が守られているのかの意識づけという点でも有効と考えます。

【質問4】

Q. 岸和田市の親子のつどいのひろば（子育て支援センター）をご存じですか？

A. 知っている

【質問4－1】

Q. 岸和田市では2カ所の子育て支援センター（公・民）がありますが、同じ校区に（山側）位置しています。2カ所だけではなく全体を見通しての子育てサポートを充実するためにも増設することが必要だと思いますか

A. 必要

【質問5】

Q. 在宅での子育て（保育園や幼稚園・こども園に行っていない時期の在宅での子育て）の環境について改善する必要があると考えますか

A. ある

【質問5－1】

Q. 「ある」と答えた方は、上記環境が整備されていない原因は何だと考え、どのような取り組みが必要ですか

A. こども基本法にも「養育は家庭を基本とする」という考え方があり、社会全体の課題としての捉え方が薄い。子どもを権利の主体としてしっかり位置づけることが必要。

【質問6】

Q. 岸和田市の子育て環境について（子育てをする上で、必要な地域資源や施設など）

A. 充実していない

【質問6－1】

Q. ②の充実していないとお答えした方にお聞きします。どのような取り組みをお考えですか

A. 子育て支援センター増設。子どもに関わる専門的な職員の配置。

【質問7】

Q. 議員として子育て支援について取り組みたい施策は何ですか

A. 給食の無償化、少人数学級、保育所やチビッコホームの待機児解消、子ども食堂など居場所への支援、障害児の福祉避難所、医療的ケア児のショートステイ